

授業科目

生活援助技術VI

担当教員名 白野 絹子	対象学年	3	対象学科	社会（介護福祉コース必修）
	開講時期	後期	必修・選択	選択
	単位数	1	時間数	30

ディプロマポリシーとの関連性

知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	◎	◎	○	◎

授業の概要

日常生活における介護場面に共通する基礎的な知識・技術を習得することは「尊厳の保持」や「自立・自律」の支援を行ううえで重要である。この授業では、人体の構造や機能に鑑み、睡眠に関連したところとからだのしくみから、睡眠の意義と目的を理解し、安眠のための介護の理論と技術力を養うことを目指す。また、誰にでも訪れる「死」について、死にゆく人のところとからだのしくみとともに多様な死生観を尊重した終末期の介護に繋がる知識と技術の習得を目指す。

授業の目的

- ・睡眠に関連したところとからだのしくみについて学ぶ。
- ・睡眠に関連した身体への影響について学ぶ。
- ・終末期におけるところとからだのしくみについて学ぶ。
- ・本人及び家族が死の受容に至る過程について学ぶ。
- ・苦痛緩和のために行われる医療の職との連携について学ぶ。

学習目標

- 1 睡眠の意義と目的を理解し、安眠のための介護の工夫を実践できる。
- 2 「生」と「死」の意義について考えることができる。
- 3 「死」を生物学的変化について理解できる。
- 4 倫理的に「死」を考えることができる。
- 5 「死」を社会背景、社会関係、人間関係の中で捉えることができる。
- 6 「終末期」の支援に敬意と誠意をもって臨むことができる。

授業計画

回数	授業計画・学習の主題
1	睡眠の意義と目的
2	睡眠に関する利用者のアセスメント
3	安眠のための介護・不眠時の対応
4	利用者の状態・状況に応じた安眠への留意点
5	「死」とは・人生の意義と役割
6	「死」とは・人生の意義と役割
7	「死」と社会・社会保障
8	「死」と社会・社会保障
9	介護施設における「終末期介護」
10	介護施設における「終末期介護」
11	地域・在宅における「終末期介護」
12	「死」の病態変化の観察と記録
13	「終末期」の心理とケア・緩和ケアと悲嘆のケア
14	「終末期介護」のチームケア・死後の対応
15	まとめ

使用図書

使用図書	書名	著者名	発行所	発行年	価格	その他
教科書	ところとからだのしくみ	介護福祉士養成講座編集委員会	中央法規	2014年	2,200円+税	
参考書	ところとからだしくみ	住居広士	ミネルヴァ書房	2011年	2,800円+税	

その他の資料						
--------	--	--	--	--	--	--

評価方法

筆記試験・レポート

履修上の留意点

オフィスアワー・連絡先

shirono@nuhw.ac.jp